

## ごあいさつ

私たちを取り巻く環境が目まぐるしく変化する現代では、市民の抱える悩みや生きづらさが多様化するとともに、新型コロナウイルスの感染拡大も重なり、社会的な孤独・孤立の問題が深刻さを増しています。そのような中、誰もが幸せに暮らすことができる「まち」を目指すには、お互いが手を取り、支え合い、共に歩いていく地域共生社会を実現していくことが重要であると考えています。



この地域共生社会の実現を目指し、様々な施策に取り組んでいくため、「第4次岡崎市地域福祉計画」を策定しました。地域福祉の推進は、自助や地域の助け合いである互助に押し付けるのではなく、また、行政の公助だけで推し進めるのではなく、市民や事業所、市民活動団体、行政が一つにつながり、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創り上げていくことです。「ここで暮らして良かった」と実感できる「まち」となるよう、「我が事・丸ごと」の地域づくりを推進してまいりますので、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定に当たり、ご尽力いただきました岡崎市地域福祉計画推進委員会の皆様を始め、多くの市民や事業所、団体の皆様の真摯な取り組み、また、貴重なご意見をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

令和4年3月

岡崎市長 中根 康浩

岡崎市社会福祉協議会では、第3次地域福祉計画の推進と第4次地域福祉計画の策定に向け、計画期間中からこれまでとは過ごし方を大きく変えてまいりました。

福祉座談会「ミソ端会議」では、学区ごとに策定した「学区別計画」について、毎年進捗管理のためPDCAサイクルを繰り返してきました。また「地域福祉計画事業検討部会」を新たに設け、計画内容を推進するための取組の提案や、計画策定プロセスの見直しを図ってまいりました。



今期の計画は、これまで以上に多くの地域住民が策定に携わっていただいたその結晶であり、ご協力いただきました皆様に深く敬意と感謝申し上げますとともに、今後の計画期間では、より一層地域住民の皆様と対話し、地域の課題解決に向けた取組を一緒に悩み考え、活動につなげていきたいと思っております。

結びに、岡崎市がより安心して暮らせる福祉のまちとなるため、計画内容が着実に実行されるよう、本会も地域福祉を推進する組織として邁進してまいります。

令和4年3月

社会福祉法人 岡崎市社会福祉協議会長 太田 俊昭